

【診療科:消化器外科】
 【レジメン登録番号:SG-111】

< nal-IRI+5-FU/LV療法 >

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)													
			1	2	3	4	5	6	7	8				14		
オニバイド	70mg/㎡	div	○													
レボホリナート	200mg/㎡	div	○													
フルオロウラシル	2400mg/㎡	civ	○													

【1コース期間: 14 日】

【総コース数: 規定なし】

【適応癌種: 膵癌】

【時期: 術前、術後 **手術不能・進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o
Rp.2	デキサート 6.6mg	div(15分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	オニバイド 70mg/m ²	div(90分で)
	5%ブドウ糖液 500mL	
Rp.4	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.5	レボホリナート 200mg/m ²	div(120分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.6	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.7※	フルオロウラシル 2400mg/m ²	civ(46時間で)
	生理食塩水(別紙希釈表により注入)	

<day2-3>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o

【参考文献: Lancet 2016;387:545-557、オニバイド点滴静注 添付文書】

【備考: ※…Rp.6は携帯型ディスポーザブル注入ポンプ使用を原則とする。ポートがない場合は入院で施行する場合もある。
 インフューザーポンプは、バクスター-SV2.5を使用。
 入院の場合は、5-FU 2400mg/m² + 5%ブドウ糖液 500mL div(46時間で) でも可

【変法情報: